

みんなで語る会報告書

開催日時 平成25年7月8日(月) (19時00分～20時30分)
開催場所 山川文化ホール 2階会議室 (山川校区)
参加者数 市民…31人
指宿市…市長 外13人

総計45人

会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 意見交換
- 4 閉会

意見交換内容

【市民】

・指宿市役所の職員で、親子や夫婦で勤務をしている人がいる。どちらかが辞めて若者を3～4人採用すれば、人口が増え税収も上がるのではないだろうか。この身内同士の勤務について、どのように考えるか。また、今後どのような対策をとるのか。

<市長>

・市役所内で職場結婚をしたからといって、どちらかが辞めなければならないというのは制度的に難しいと思う。男女共同参画で行政を背負っていくのも、一つの在り方ではないだろうか。また、結婚等により一方が辞めるとなると、行政のノウハウをもった貴重な人財を失うことにもなる。このことは、私がこうすべきだとは言えない。それは、二人の判断でもある。そういう考えがあることを、否定するものでもない。

【市民】

・山川幼稚園が廃園になり、建物もだいぶ朽ち果てている。町区や福元区等、旧山川町の方が会合などで使用できないものだろうか。広場もあり、お年寄りが会合をするときにも役立つと思う。今後の活用について、どのように考えるか。また、建物内の不要となった物品も処分してもらいたい。

<市長>

・持ち帰って、今後どうするか検討したい。

<教育部長>

・山川幼稚園関係の書類等を整理している。今、備品の整理も行っており、利永保育所や開聞児童館、各小・中学校、市役所内で利用できるものは利用したい。残った備品については、広報紙に掲載し競売等により処理したい。跡地利用については、このような処分が終わり次第、全庁的に協議を行い検討したい。地区でも要望があれば出してもらいたい。

<山川支所長>

・旧山川幼稚園隣の旧山川中学校倉庫には、以前開催していた「さつまいもフェスティバル」や「フラワーフェスティバル」で使用していた備品と、選挙管理委員会関係の看板等が残っている。解体するときには撤去したい。東側の建物は、取り壊しを平成21年度に計画していたが、旧山川幼稚園の会議室が隣接していたため、同時に取り壊した方がよいだろうと白紙に戻った。今後の取り壊しについては、旧山川幼稚園の会議室をどうするのかといった方向性が決まってから検討したい。

<市長>

・行政主導とするのではなくて、山川幼稚園跡地をどうしたいのか、そのために行政としてこうい

うことをして欲しいといった地域の人たちの幅広い意見を聞きたい。

【市民】

・町本通りの大誠堂薬局前に鉄筋3階建ての建物があるが、ハトのフンがすごい。行政がハトの駆除をするか、建物の所有者に指導をしてもらいたい。

<山川支所長>

・不衛生であることは認識している。以前、建物の管理者に依頼し、テグスやCDなどハトが嫌うものを取り付けてハトの駆除を試みたが、なかなかうまくいかない状況である。ただ、行政でハトを駆除するには、動物愛護の関係もあり難しい面もある。建物の管理者が、ハトの卵を取って増やさないようにするというのも一つの方法。管理者に対し、ハト対策と空き家対策を改めてお願いしたいと思うのでご了解いただきたい。

<市長>

・空き家対策、廃屋対策というのは、山川地域だけでなく市内たくさんある。そういう切実な悩みを解決できる方向で関係者と話し合いたい。その結果は、支所を通して必ず回答したい。

【市民】

・福元区の街灯が少なく暗さを感じる。安全灯の設置を補助する予算も組んであるようなので、充実をお願いしたい。市民が安心して通行でき、夜の徘徊防止にもつながるのではないか。

<市長>

・支所を含めて実際に現場診断をしながら、その解決方法を練らなければならないと思う。

<市民生活部長>

・どの辺りが暗いのか、区長とも検討したい。

<福元区長>

・福元区では、区の予算で街灯を設置している。今のところ、集落長からの設置要望はない。要望があれば、行政でも補助制度があるので設置していきたい。

<渡瀬副市長>

・健幸づくり事業の中で、モデルウォーキングコース整備への補助制度もある。夜にウォーキングをするときに暗く支障があるということであれば、こういう事業も活用できる。ただ、今年度は締切りを終えている。

<市長>

・地域で健幸づくりをするためにウォーキングコースを造り、みんなで元気になろうと、各集落から申し込みがあった。広場を造れば、さらに30万円の補助がある。この事業の成果を見届け、健幸づくりにつながるようであれば、何とかしなければならないという気がする。区長さん方を中心に、この事業をどう拡充すべきなのか聞く機会を設けたい。

【市民】

・このような会合を、これからも開いてもらいたい。他に気軽に提案できるような場所は、どのような所があるか。また、提案したことが、ちゃんと上まで取り上げてもらったのか心配なことがある。実行までは難しいと思うが、報告したこと位は教えてもらえれば励みになると思う。

・島根県では、Ruby（ルビー）というソフトを開発した。レストランなどで言葉の分からない外国人がATMのようにボタンを押していくことで、料理の説明から材料等を教えてくれ、会話をしなくても注文できるようになっている。アレルギーの方も、材料のチェックができる。今では、世界から注文が殺到している。

・日本もTPPに参加することになり、農業関係の方は大打撃を受けていると思う。ところが、農業関係においても、知的所有権で大いに参加できる。製造法を特許で抑え、そこでしか作れないといった工夫次第で、色々な商売ができるのではないか。みんなで議論して盛り上げていければと思う。

<市長>

・指宿でも、こんな工夫をという貴重な提言をもらった。何かをしなければ、まちは変わらない。

みんなで知恵を出し合おうという貴重なご意見だったと思う。

【市民】

・北海道の幕別町は 65 歳以上の病人が非常に多く医療費がかさんでいたが、パークゴルフをするようになってから、全国で医療費が 1 番安くなったと聞いた。健康維持にも良いので、ぜひ指宿にも競技場を造ってはどうか。開聞岳の麓にもたくさん土地がある。指宿にはホテルがたくさんあり、全国大会の開催も可能である。人が集まる場所を造り、全国から人も来て、健康の輪が広がることを考えると真剣に考えてみてはどうか。

<市長>

・かいもん山麓ふれあい公園を見に行ったら。上の方には、旧リフトを管理していた倉庫やトイレがあつて良い。先月は、第 1 回「健幸ふれあい」パターゴルフ大会を開催したところ、開聞地区の方々も楽しんだ。今後も毎月開催する。姉妹都市である千歳市にも、パークゴルフ場がたくさんあり、いきいきしている。その姿を見たときに、これで元気になり医療費も下がればいいことだと集落長とも会話がはずんだ。今後、競技人口を増やししながら、どのような整備をするのか考えていかなければならない。そのときは、企画の案をいただきたい。

【市民】

・7月 18 日には、川辺のパークゴルフ場に指宿スポーツクラブから視察に行く。平成 17 年～19 年頃は、パークゴルフの会員も 40 名ほどいたが、現在は 18 名ほどしかいない。今後、普及に努めなければならない。ふれあい公園の草スキー場の所は、競技場を造るにもお金がかかり過ぎる。ふれあい公園の 1 番上部の方なら、2 コースはできると思う。真剣に取り組んでもらいたい。

<市長>

・健康で病気にかからない方法として、貴重な提言をいただいた。これについては、改めてご相談する。

【市民】

・鹿児島市から山川小学校区まで、車で 1 時間ちょっとである。鹿児島市のベッドタウンになれば、消費者が増えて産業振興にも前向きに取り組めるのではないか。ただ、港町特有の土地柄により人口が減少し、山川小学校の児童数も少なくなっていると思う。

<市長>

・山川は港町として、地域の皆さんの意思疎通がよく図られた地域でもあろうと思う。そういう良さを活かしながら、みんなが手をつないで暮せるような地域にすることで、児童の増加も期待でき、人口増も図れるのではないかというご提案だったと思う。

【市民】

・山川で発祥したカントリーボールという競技がある。しかし、グランドゴルフ等に押され、土日ほとんど練習できずに困っている。年に 2 回ほど大会も開催しているが、道具なども不足している。また、指宿方面ではほとんど行われていない。パークゴルフやグランドゴルフが全国的で世界にも広がる感じであるが、つぶさないようにしたい。ぜひ、市からも助成をしてもらいたい。

<市長>

・今、山川には、カントリーボールの常設コースはあるのか。

【市民】

・したいときに、広さを問わずどこでもできる。

<市長>

・カントリーボールを県でも紹介し、こんなに面白いスポーツはないということで、全国の社会体育関係の会でも発表したことがあった。どのような振興方策を練ればよいか、市民スポーツ課等と一緒に頑張って勉強をさせてもらいたい。山川で生まれたスポーツ文化を大切にしなければならないと思う。

【市民】

・山川庁舎で税金を納めるとき、以前はJAの職員がいて、納付書を持っていけばすぐに手続きが終わっていた。ところが今は、名前と電話番号を書かされる。なぜ面倒をさせるようになったのか。改善できるのであれば、以前のような簡単な方法にしてもらいたい。

<山川支所長>

・JAの監査で、一人体制での収納は無理だと指摘された。それにより、4月1日から窓口一本での納付から、各担当窓口での取扱いをしているところである。名前と電話番号の記入については、納付の間違いをなるべく減らすよう確認のために書いていただいている。連絡先を書いておけば、間違いがあったときにも連絡が取れる。また、字を書けない方等については、納付書を見て職員が代筆する等、なるべく市民に迷惑をかけないようにしている。ご理解いただきたい。指宿庁舎で納める場合も、金融機関窓口で書いていただいている。

<市長>

・とても不自由であれば、また検討しなければならないが、今のところは説明のとおりである。

【市民】

・町本通りの活お海道から郵便局周辺の大きな交差点は、白線が全部消えている。何か月か前にもお願いしたが、その後、何の連絡もない。文書でも出してある。早く実現してもらいたい。

<総務部長>

・依頼への対応状況については、担当課に確認をしたい。白線や停止線に関する要望は大変多く、予算も昨年度の倍近く確保したが、全体的な量からすると追いつかない状況である。危険度等を判断しながら、各地区からの要望に対応させていただくことになる。現場を確認し、どういう状況だということは区長さん等に連絡をさせていただく。

<市長>

・すぐに見に行かせて、どういうふうにするという回答をさせたい。

【市民】

・なのはな館の跡地に、メガソーラーを設置してはどうか。造成をする必要もなく、基礎をうってパネルを並べれば2～3メガの発電設備ができると思う。私の試算では、1メガで9,000万円程度の売電ができる。設備投資が、1メガで約3億5,000万円、2メガで約7億円の投資になると思う。電力会社が、20年間は買い取るので、8年位で初期の投資を回収できるのではないか。その後は、利益となる効率のいい事業だと思う。ぜひ、検討して欲しい。

<市長>

・計算をしたこともあるが、県とのからみもあり、跡地利用については苦しい立場にある。どういう利用の仕方があるのか、県がどのような条件を出してくれるのか。この前の豪雨時、ゲートボール場は雨漏りがひどかった。そのように、建物に問題があり修理が必要なときは、県に修理をしてもらいたい。色々な条件を出して、市への財政的負担がないような形で引き受けなければ、その後の修理等が大変だったとなると非常に困る施設である。

【市民】

・カントリーボールは、山川で生まれた非常に面白いスポーツであるとのことだが、これが全国に広まった場合、うちが先だ、うちが先だと必ず言い出す。結局、どこが発祥だかわからなくなってしまふ。そういう経歴を書いて、著作権協会に登録しておくことよいのでは。全国に広まった場合に、まちを売り込む武器になるはずである。

<市長>

・カントリーボールは、ニュースポーツの冊子にも山川で生まれたと書いてある。今、言われたようなことも考えながら、山川で生まれたものを大切に、盛り上げてもらいたいということであろう。大切にしたいと思っている。

【市民】

・山川で一番問題になってきているのは、小学校の過疎化である。児童数の減少について、どのように考えているのか。山川小、徳光小、利永小、開聞小など、4～5校が100人に満たない学校であるのでは。私たちは人数が多い頃に育っているので、大人数の中で育った方が、子どもは元気が出るのではと思う。

<教育長>

・県内、どこの地域でも児童・生徒が減ってきている。この山川地区においても、ものすごく減ってきている。山川小には平成元年は268人の児童がいたが、現在は65人である。大成小には542人いたが、現在は232人。特に減少が激しいのは、利永小には平成元年は136人の児童がいたが、現在は19人で86.0%の減少である。山川小は75.75%。丹波小も、平成元年は児童数が1,000人を超えていたが、現在は583人で42.67%減少している。文部科学省は、小学校は1学年最低2学級以上、中学校は1学年3学級以上が望ましいとしている。特に、中学校は教科担任制であるので、この規模でなければ専門の教科担任がなかなか確保できない。そういう規模の学校になれば、子どもたちは色々な体験活動ができる。学習だけではなく、スポーツ少年団や部活動に対しても色々な影響が出てきており、児童・生徒が大勢いたときには体験できたことが、今の子どもたちは体験できないという状況がある。このことについては、今後皆さんの意見を聞きながら、どうあるべきかをさらに検討していく必要があるのではないかと思う。

<市長>

・1学年が10人位であると順位制ができ、挑戦し頑張ろうという気持ちが、子どもたちになかなか生まれにくい。複式学級になると、例えば1・2年生の場合、1年生に先生が教えているときには、2年生はプリント等をする。2年生に先生が教えているときには、1年生がプリント等をする。一人の担任が2学年をもつと、授業時間の半分ずつしか教えることができない。それは、子どもにとって非常にいいところもあるが、決して望ましい授業の姿ではないだろう。そういう意味で、子どもが少なくなったから、別の学校の近くに家を建てて住もうというふうになる。市全体の中学生が1,300人を切った位だと思うが、1,300人という昔の北指宿中学校の生徒と同じである。小学生が2,000少し、丹波小学校が1番多い時期で1,800人位いた。また、5年、10年後はどんどん減る。子どもにとって、どういう姿が幸せかということ判断し、考え、実行に移すときであると思う。今後、学校をどうしていくかというのは、行政主導だけではなく、学校をこうしていきたいという地域の意見を出してもらえるとありがたい。それは、子どもをもっている親も集落長さん方も一緒になって考えていただきたい。そういう時期だろうと思っている。あくまでも、地域住民がどうしたいのかというのを第一義的に考え、学校の在り方を考えなければならない。

【市民】

・水産加工組合だが、中国人研修生を雇い始めて12年になる。中国人に限らず、このような状態が続くと思う。そこで問題になるのが、経費の問題である。できれば、外国人研修生の寮の設置や、運営に対する補助等があればありがたい。

<市長>

・中国人の研修生は、頑張っており大切にしなければならない。色々なイベントに参加していただき、市民との交流の輪を広げてもらうのが私のマニフェストの一つであった。中国人の研修生は、帰ったら必ず山川のことを思い出したり宣伝をしたりする。きっと、山川と中国との橋渡しをしてくれるだろう。確かに、住んでいる所はちょっと大変だと思う。幼稚園の跡地なりで、こうしたらいいという提案をしていただけるとありがたい。